

第 216 回 河川文化 を語る会

参加費
無料

プログラム

- I. 「半田運河と共に歩んだミツカンの考える水の文化とは」～やがて、いのちが変わるもの。～
講師：株式会社 Mizkan CRM 本部広報部 部長 亀山 勝幸
- II. 「川から眺めた英国運河の風景と文化」
講師：名古屋工業大学 社会工学科 助教 中居 楓子

講演要旨

河川文化は水の文化であり、私たち生命の源でもあります。1804年に愛知県半田の地で酢の醸造を始めたミツカンは、いい水を大事にして歩んできた企業であり、1999年「水に感謝し、水の大切さを伝える」ために「ミツカン水の文化センター」を設立しました。今回はこのミツカンから亀山勝幸広報部長をお招きし、みなさまと水の文化について語り合いたいと思います。

また水の文化のもう一つの視点として、ミツカンの発展、江戸前寿司の礎となった舟運の存在があり、今は存在感が薄れている運河文化についても触れます。この話題につきましては2023年英国に赴任し、英国の運河文化とその風景を体感された名古屋工業大学の中居楓子さんも交え新たな運河の活用などにも目を向けた未来を語り合いたいと思います。今回の講演会を踏まえ、風情の残る半田運河やミツカンミュージアムなどにも足を運んでいただきましたら幸いです。

日時：2025年3月9日(日) 14:00～16:30

会場：ウインクあいち 1204 会議室

WEB からの申し込みはこちら



講師紹介



亀山 勝幸氏 (株式会社 Mizkan CRM 本部広報部 部長)

1995 年株式会社 Mizkan に入社
現職にて Mizkan の広報活動の責任者を担当。
社会貢献活動の一貫として、「水の大切さ」を
伝える水の文化センターの活動にも取り組んでいる。



中居 楓子氏 (名古屋工業大学 社会工学科 助教)

京都大学大学院情報学研究科にて情報学の学位を取得後、2018 年より名古屋工業大学の環境都市分野助教、2023 年より 1 年間客員研究員として英国ユニバーシティ・カレッジ・ロンドンの都市空間情報解析センターに在籍、2024 年より同センター名誉准教授。専門はシミュレーションやデータ解析による都市防災、地区防災計画。三重県、愛知県内自治体にて都市計画審議会、立地適正化計画防災指針改定の委員等として携わっている。



左：ミツカン本社付近の半田運河



右：ヨーロッパの川の風景

申込方法・アクセス

- ①氏名 ②(勤務先) ③E-mail または グーグルフォーム
 - ④職種 (建設コンサルタント、建設会社、その他民間企業、行政、財団/社団、NPO 等川や水の活動、学生、その他)
 - ⑤二種正会員 (個人会員)/ 一般の別を明記の上、E-mail・グーグルフォームのいずれかからお申し込みください。
- ※②と④の記載は任意です。

【申込先】●日本河川協会「河川文化を語る会」事務局

※ 問合せ先をご参照ください

E-mail : kataru@japanriver.or.jp

- ★表面の QR コードを読み取って、
受付フォームからお申し込みいただけます。
※ 定員になりしだい締め切らせていただきます。



【本件に関するお問い合わせ先】

公益社団法人 日本河川協会 (担当: 志賀・百武)
東京都千代田区麹町 2-6-5 麹町 E.C.K ビル 3F
TEL : 03-3238-9771
FAX : 03-3288-2426
E-mail : kataru@japanriver.or.jp

【主催】公益社団法人 日本河川協会 【共催】愛知・川の会
【後援】国土交通省 中部地方整備局 愛知県



本講演会は河川財団による
河川基金の助成を受けて開催しております。